

5 月 26 日ま

で返送厳守

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ (A. 共通問題)

氏 名 _____ 会員No. _____ 所属 _____

住 所 〒 _____

MAIL. _____

TEL. _____ FAX. _____

私はこの共通問題のほか、次のジャンルの問題に回答し、審査員資格の更新、あるいは新規取得を申請します。

B. ビッグゲームトロリング C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り D. フライ

(上記のいずれかひとつに必ず○をお付けください)

以下の設問は、各ジャンルの道具や仕掛け、釣り方などに関するものです。その内容が IGFA ルールに合致し、世界記録や日本記録申請に适当と思われるものには○、不适当と思われるものには×をつけてください。

A 共 通 問 題

回答欄 (○×式)

1. 80lb ラインのバックングラインを 200m 使用して、先端は 20lb ラインを 30m 接続して釣りをした。

この場合で釣った新記録申請魚は 20lb ラインクラスへの申請となる。

☐

2. 普段は 50cm 程の魚を釣ることが多い為、IGFA が販売している専用メジャーを 70cm にカットして使っていたが、100cm を超えるレンジス新記録に該当する魚が釣れたので、不足部分を足して使用した。この方法は記録申請に使用して問題ない。

☐

3. 電動モーターが装着されているリールで、記録申請出来る大型のカンパチを手巻きで釣った。リールにはモーターが付いているが、仕掛けの投入からファイトまで一度も電源を入れていないので帰港後に計測して記録申請を行った。この方法は記録申請に問題ない。

☐

4. A 氏がキャストした置き竿に大きなアタリが出たが、仕掛けを投入した A 氏がたまたま不在だった為、同行していた B 氏がフッキングして、戻ってきた A 氏に渡した。記録申請に値するコイを釣ったので、JGFA 会員である A 氏は、このコイを記録申請できる。

☐

5. 狙っていた魚が至近距離へ接近してきたので、急ぎルアーを振り込んで魚をストライクさせた。リーダー部はロッドティップから出ている距離でのストライクだったのでリーダーでファイトして魚を取り込んだ。この魚を記録申請しても問題ない。

☐

2025 年 4 月

返 送 先 JGFA 事務局 FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

5 月 26 日ま

で返送厳守

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ (B. ビッグゲームトロリング)

氏 名 _____

問 題 _____

回答欄 (○×式)

6. リーダーマンがようやくリーダーを掴んだもののギャフが届かない。ギャフマンは
フライングギャフを投げて魚体に引っ掛けて取り込んだ。フライングギャフは名前の通り
投げて使用して構わない。
7. 効果的に魚を寄せるために、ボートの後ろから鰯のミンチを撒きながらトロリングを行った。
この方法は IGFA ルールとしても適切である。
8. カジキがヒットし、ラインが引き出された。ラインが引き出されている間はファイトしても無駄
なので、ラインの出が止まってからロッドホルダーから竿を抜き、チェアに座りファイトした。
この方法は、IGFA ルールでも認められている。
9. 時化の中、ボートの揺れがきつく安全のために片手をボートの舷側に付き、ロッドバットを舷側
に付けてファイトしたが、IGFA ルール違反にはならない。
10. カジキのランディングに際し、ギャフを用意し忘れた事に気が付いた。咄嗟の機転で首に掛けて
いたタオルを水に濡らしてビルに巻き付け、引っ張り上げた。魚体に傷がつかないこともメリットに
なるので、IGFA ルールとしても適切である。

別に共通問題の 1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。

2025 年 4 月

5 月 26 日まで

返送厳守

返 送 先 JGFA 事務局

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ(C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り)

氏 名 _____

問 題 _____

回答欄 (○×式)

6. 魚とファイト中、不意に体勢を崩してしまいロッドが半分に折れてしまったが、折れてしまったことにより、ポンピングが楽になり早く魚を取り込むことが出来た。この魚は、記録申請に適しているか。

7. 仲間と数人で船に乗り、活きた魚を泳がせて釣りをした。隣の仲間とダブルヒットの状態となりファイト。大きな魚を取り込むことが出来たが、隣の仲間のフックも飲み込んでいた。この魚は、記録申請ができるか。

8. 市販品のタイラバを使用するにあたり、フック配列が IGFA ルールに適していない製品もあるため、自分でシングルフックを一本にして作り直した。このタイラバを使用した場合、記録申請はできるか。

9. 四国のとある河口付近の海でスズキ釣りをしていたが、大型のアカメがヒット。無事に取り込み計測すると従来の記録を上回る大きさだった。使用したリーダー長は 3m だったが、海で釣ったので、記録申請をしても問題ない。

10. 流れの強い河川でシロザケ釣りをしていた。狙い通り記録級の大型をヒットさせることが出来たが、魚に勢いよく下流へ走られてしまった。そのまま自分は動けず耐えていると、10m 程下流で釣りをしていた友人がネットで取り込んでくれたので、記録申請をした。

別に共通問題の 1. ~5. があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。

2025 年 4 月

返 送 先 JGFA 事務局 FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

5 月 26 日ま

で返送厳守

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ (D. フライフィッシング)

氏 名 _____

問 題 _____

回答欄 (○×式)

6. ソルトウォーターのシイラ釣りで、ドロッパーは2本まで使うことができる。

☐

7. ショックティペットの長さは、両端にあるノットの内側を厳密に計測する。

☐

8. フライフィッシングでは、冷凍のワカサギやキビナゴ、イワシミンチなどを
チャム（寄せ餌）として使うことはできない。

☐

9. 先端強度が8ポンドと表記してある市販のテーパーリーダーは、4kg のティペットクラスにおける
記録申請に問題なく使うことができる。

☐

10. 重いシンキングラインを、キャストすることなくボートから真下に沈め、ラインを送り出して
所定の層にフライを届けたあとにリトリブを開始するような釣り方は禁止されている。

☐

別に共通問題の1.～5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。